

# 第1557条：性差別に対する個人の保護

---

第1557条は2010年のAffordable Care Act（医療保険制度改革法）の公民権に関する条項です。第1557条では、特定の健康維持プログラムや活動において、人種、肌の色、出身国、性別、年齢、障がいによる差別を禁止しています。第1557条の最終規制は、Medicare（メディケア）を受け入れる病院やMedicaid（メディケイド）の支払いを受ける医者など、Department of Health and Human Services（HHS、保健社会福祉省）から援助金を受け取るあらゆる健康維持プログラムや活動に適用されます。また、Marketplace（マーケットプレイス）に参加するHealth Insurance Marketplaces（健康保険マーケットプレイス）や発行者、HHS自体が管理する健康プログラムにも適用されます。

規制では、第1557条で禁止している性差別には以下に基づく差別が含まれていることを明記しています。

- 個人の性別
- 妊娠、出生、およびこれらに関連する医学的状态
- 性同一性
- 性的ステレオタイプ化

## 性差別に対する保護

- 性同一性や性的ステレオタイプ化を含め、性別に基づいてヘルスケアや健康保険を拒否されることはありません。
- ヘルスケアや健康保険で女性も男性と同じように扱われなければなりません。
- 性転換に関するすべてのヘルスケアサービスの断定的補償範囲の除外または制限は差別となります。
- 個人は、施設の利用を含め、性同一性に一貫して対応される必要があります。しかしながら、提供者は、ある性の個人が通常または独占的に利用できるヘルスサービスについて、そのようなサービスを求める個人が別の性に属しているという事実に基づき、治療を却下したり、制限してはいけません。
- 性別を特定した健康維持プログラムや活動は、事業者が極めて説得力のある正当性を証明できる場合、すなわち、性別を特定した健康維持プログラムまたは活動が重要な健康に関連する目的または科学的目的を達成することに大いに関わっている場合にのみ許可されます。
- 最終規制は、個人の性的指向のみに基づく差別が第1557条の性差別の一形態であるかどうかを解決するものではありませんが、個人の性的指向に関連した性差別が第1557条で対処されるステレオタイプ的な類に関連する場合、OCRがその差別に対する苦情を評価することを明記しています。HHSはポリシーの問題として、性的指向の差別を禁止することを支持しており、引き続きこの問題の法的な進展を監視していきます。

第1557条に関する詳細情報は、[www.hhs.gov/civil-rights/for-individuals/section-1557](http://www.hhs.gov/civil-rights/for-individuals/section-1557)をご覧ください。